

—詩の朗読（目を閉じて）—

見上げてごらんさい
果てしない空が広がっているでしょう
そこに永遠を感じませんか？
永遠から見れば
この世の悲しみも苦しみも
小さいものです

あなたはかつてこう問いました
人生は長いだろうか？
それとも短いだろうか？と

今、あなたのその問いに答えましょう
人生は短く風のように過ぎ去る
それはつかの間の夢のようなものと

あなたは好きなように生きていいのです。
世界はあなたのためにあり人生もあなたのためにあるのですから

一人であることを寂しがったり辛く思うことはありません
一人のときとはあなたが100%自分らしくいられる大切なひとときなのです
悲しいとき苦しいとき孤独な時いつでも私を思いなさい
わたしはいつもあなたとともにあります
あなたとわたしはひとつです
羽ばたきなさい自由に生きなさい
世界は広い
あなたが生きる世界は限りなく広いのです

あなたも永遠の存在です
あなたの中に永遠があります
この世でどんなに辛いことがあってもあなたの永遠性は失われません
先ずあなたがいてあなたの人生がある
全てはそこから始まります

寄り道をしてもいいんだよ
真っ直ぐな道を無理して走って行くことはないんだよ
君は君らしくゆっくり歩いていけばそれでいいんだよ
あなたは自分以外の何者かになろうとしてきました
しかしもう気づきなさい
あなたはあなたになればいいんだ
他人を演じる必要はなくあなたはあなたであればいいんです
はじめからそうでした
ずいぶん遠道をしてきましたね

あなたが今やっている仕事は決してお金のためだけのものではありません
あなたのその仕事を通して人々や社会へ奉仕をしているんです
その心掛けがあなたの仕事に命を吹き込んでいるのです

怒りに対して微笑み憎しみに対して優しさをあなたは示すことができますか
あなたを殺そうとする人をあなたは愛することができますか
できない？
それでいいのです
それが人間なのです

自分の至らなさをせめなくてもいい
あなたは努力しています
あなたは神様になんかにならなくてもいいんです

怒りを感じることも憎しみを覚えることも恨みに思うこともあってもいい
悲しんでもいいし暗い気持ちになったりやけを起こしたくなったりしてもいいのです
無理していつでもいい人を演じなくてもいいのです
あなたもまた一人の人間だとまず自分自身が認めることです
決して悟りきった聖人ではない
そうすればうーんと楽になります

人が人の言うことをちっとも聞かないのはそれが魂の法則だからです
魂は絶対的な自由意志を与られています
自由意志こそ魂の本質なのです
だから自由が奪われるのは法則の重大な否定なのです
自由意志があってこそはじめて
その魂は自分の言動に対して全責任を自ら負います

与えなさいおしげもなく
自分のものが奪われたような気がしているならそれは間違いです
あなたのものなどこの世には何もありません
あなたは何も持たずにこの世にやって来ていずれ何も持たずにこの世を去るのです
自分のものという考えはきれいさっぱり捨ててしまいなさい
人があくことなく何かを欲しがるのはそれは不足しているというより
心が満たされていないからです
心の飢えです
これでもう充分そう思えたらそれ以上求める必要はないのです

あなたは毎日どれだけ人の為なること社会のためになることを考え実行していますか
それは人として好ましい生き方だけに宇宙の法則にのっとった生き方なのです

「東京タワー」というベストセラーの「母親というもの（詠み人知らず）」から

母親というものは無欲な物です
我が子がどんなに偉くなるよりもどんなにお金持ちになるよりも
毎日元気でいてくれることを心の底から願います

どんなに高価な贈り物よりも我が子の優しい一言で充分すぎるほど幸せになれる
母親というものは実にほんとうに無欲なものです
だから母親を泣かすのはこの世で一番いけないことなのです